

I. 授業の概要

この科目は教育学部2年生向けの専門教育科目である。講義では身近な地域から世界の地域までを具体的な事例としながら基礎的な知識を修得させ、地域的特色や地域的差異を理解する地理学的見方を身につけることを目的とした。なお、この科目は課程認定科目である。

授業の到達目標として、①地理学（地誌学も含む）の基本概念を理解する。②地図とくに地形図の基礎知識を習得し、正しく読図できる。③それぞれの地域の特性を理解し、地域における人文事象と自然環境や歴史・社会・経済環境などとの関係を説明できる、の3つを掲げた。

関連するディプロマ・ポリシー(DP)は教育に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している(知識・理解)、教育活動に取り組むため、高い技能と豊かな表現力を身につけている(技能・表現)、である。

また、授業の内容と計画は次の通りであった。第1回ガイダンス Introduction、第2回地理学と地理教育 Geography and Geographic Education、第3回地理学と地形図 Topographic Maps (General Reference Maps) in Geography、第4回地理学と主題図 Thematic Maps in Geography、第05回フィールドワークの意義と方法 Pre-fieldwork, the Significance and Methods of Fieldwork、第6回フィールドワーク Fieldwork in Matsuyama、第7回主題図の作成と読解 Creating and Interpreting Thematic Maps、第8回フィールドワークの報告会 Post-Fieldwork (Presentation on the Fieldwork)、第9回地誌学の基礎 Basics of Regional Geography、第10回世界の諸地域 Regions of the World、第11回モンスーン地域の地理環境と生活 Geographic Environment and Living in Monsoon Areas、第12回乾燥地域の地理環境と生活 Geographic Environment and Living in Arid Regions、第13回低地の地理環境と生活 Geographic Environment and Living in

Lowlands、第14回高地の地理環境と生活 Geographic Environment and Living in Highlands、第15回まとめ・期末試験 Semester Review and Final Exam。

II. 授業評価の方法と結果

2019年2月1日(金)に授業評価に関するアンケート調査を実施した。履修者37名のうちに36名から回答を得た。各設問に関して、①そう思う、②どちらかといえばそう思う、③どちらとも言えない、④あまりそう思わない、⑤そうは思わない、の5つの選択肢から選んで答えてもらった。なお、紙面の関係で、以下の集計結果から回答者が0名の選択肢を省いた。

1. この科目を履修した理由

- | | |
|---------------|-----|
| ①シラバスの内容で判断した | 9名 |
| ②科目名で判断した | 10名 |
| ③時間割の都合で判断し | 7名 |
| ④先輩の薦めで判断した | 2名 |
| ⑤その他 | 8名 |

2. 取得する予定の免許状(複数回答)

- | | |
|----------------|-----|
| 小学校教諭一種免許状 | 30名 |
| 中学校教諭一種免許状(社会) | 29名 |
| 高校教諭一種免許状(地歴) | 16名 |
| 高校教諭一種免許状(公民) | 10名 |
| 中学校教諭二種免許状(社会) | 8名 |
| 幼稚園教諭二種免許状 | 2名 |
| その他の免許状 | 4名 |

3. 教員は、学生が質問や意見を述べられるように配慮したか。

- | | |
|---------------|-----|
| ①そう思う | 13名 |
| ②どちらかといえばそう思う | 19名 |
| ③どちらとも言えない | 3名 |
| ④あまりそう思わない | 1名 |

4. 配布資料、地図帳、教科書などの教材は適切であったか。

- | | |
|---------------|-----|
| ①そう思う | 15名 |
| ②どちらかといえばそう思う | 18名 |
| ③どちらとも言えない | 2名 |
| ④あまりそう思わない | 1名 |

5. Moodleの活用は効果的であったか。

- | | |
|---------------|-----|
| ①そう思う | 21名 |
| ②どちらかといえばそう思う | 11名 |

- ③どちらとも言えない 2名
 ④あまりそう思わない 2名
 6. 教員は、学生の理解度を確認しながら授業を進めたか。

- ①そう思う 12名
 ②どちらかといえばそう思う 14名
 ③どちらとも言えない 5名
 ④あまりそう思わない 4名
 ⑤そうは思わない 1名

7. 課外でのフィールドワークは、授業内容の理解を深めるのに有効であったか。

- ①そう思う 23名
 ②どちらかといえばそう思う 13名

Ⅲ. フィールドワークについて

大人数のためグループ分けしてフィールドワークを実施した。それぞれのグループの調査目標を決めて、事前学習・フィールドワークの実施と成果報告を行った。授業評価の際に自由記述として最も印象に残ったトピックとして、36名のうち25名が「フィールドワーク」を挙げている。また上記の集計結果からも、ほとんどの受講者は課外でのフィールドワークの有効性を理解していることが分かった。

Ⅳ. 受講者の自由記述から見た身近な地域の教材化と課題

受講者のアンケートから、身近な地域の教材化や、それに関するフィールドワークの実施などについて、成果や課題が見えてきた。それに関連する受講者の自由記述をそのまま転載しておく。

もっと生徒が答える機会を多くとる参加する授業を作ればいいと思った。

地理的知識や技能の取得だけでなく、地理を教える立場として、どのような授業にするのがよいのかなど実践に生かせるような学習ができたと思う。

フィールドワークを通して、様々な地域のことについて調べて班で協力して発表できたことはとてもいい経験になったと思う。また、授業内でアクティブラーニングなどがあればもっと活気的な授業になったと思う。

フィールドワークを行い、この地域の特徴や変化を知ることができた。実際に自分の目で見て確かめることが理解度をさらに深めた。

高校までに地理をあまり勉強したことがなかったため、地理の勉強方法等、知識や情報以外のこともたくさん学べた点が良かった。

フィールドワークはとても良かった。可能であれば、受講者が行ったことのない場所を選択するとより面白いと思った。

もう少し班活動などの時間を増やして欲しかったです。

大好きな地理について、高校時の良い復習になった。より専門的なことも学ぶことができて良かった。

フィールドワークはとても良かった。もう少し板書などで要点をまとめやすくしてもらえれば嬉しかった。

フィールドワークを行い、プレゼン発表するのはとても良いことだと思います。

フィールドワークであったり、地図を利用した内容が多くより理解しやすい授業だったと思う。また、将来授業を作る上でどういった内容でやるかやポイントなどを詳しく学べた。

フィールドワークの授業作りの大切さ、大変さを知ることができた。

自分で調べたりする作業がもっと多くてもよいと思った。

地理についての深い知識を以前よりは得られたと思います。

自分にとって初めての地理学だったのでそこまで専門的分野でもなくかつ、そんなに浅すぎる内容では無かったため自分にとってはかなり入りやすく社会を続けたいと思える内容だった。

Ⅴ. 次年度の改善点

以上のように、授業は概ね当初の目的を達した。しかし、休日に実施したフィールドワークについて参加者の日程調整がむずかしかった。数名の学生は都合によってフィールドワークに参加できず、別メニューでフィールドワークを実施した。次年度では初回の授業で周知して全員で参加できるようにフィールドワークの日程を決めたいと思う。